

平成 29 年 9 月 18 日
松山河川国道事務所

重信川・石手川出水状況（速報版）

～ 重信川（出合^{であい}基準地点）で戦後最高の水位を記録 ～

平成 29 年 9 月 17 日台風 18 号の豪雨による重信川水系に関する気象・出水の概要、事務所・災害支援の対応についてお知らせします。
この情報は速報であり、数値等は今後変わることがあります。



重信川の水位が出合橋の橋桁にせまる出合基準地点の状況（9月18日19時頃）

詳細については当事務所HP（<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/>）をご覧ください。

問い合わせ先：四国地方整備局松山河川国道事務所調査第一課

副所長（河川）：松下 越夫（内線：204）

◎ 調査第一課長：山崎 元司（内線：351）

代表 089-972-0034

直通 089-972-0612

FAX 089-972-6621

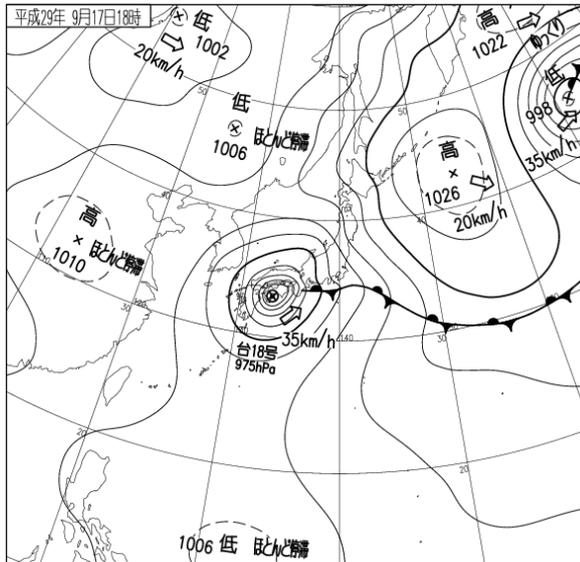
◎：主な問い合わせ先

□ 気象概要

大型の台風18号は、17日の午後から夜中にかけて愛媛県に最も接近した。
台風の接近に伴い、愛媛県には台風本体の発達した雨雲がかかり、非常に激しい雨をもたらした。

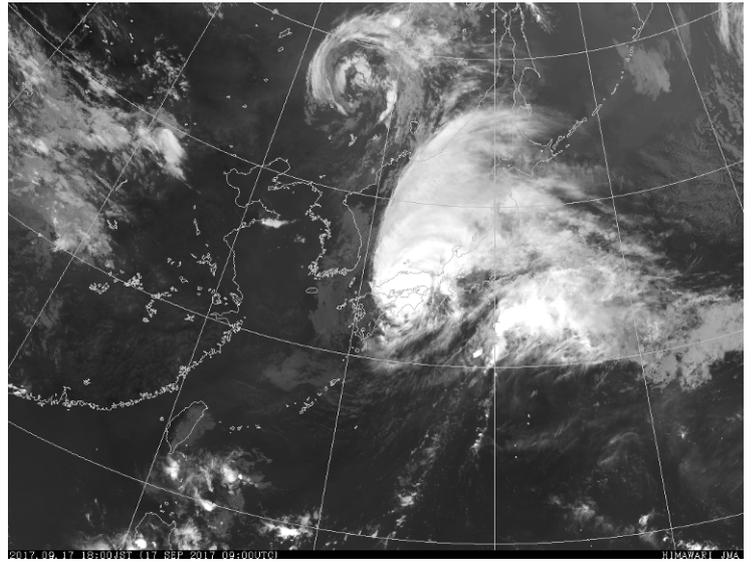
■ 天気図・衛星画像

9月17日18時



※気象庁HPより

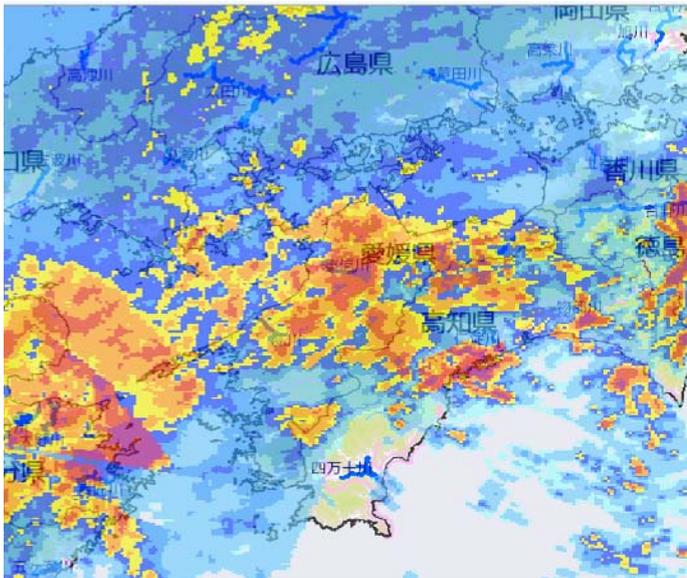
9月17日18時



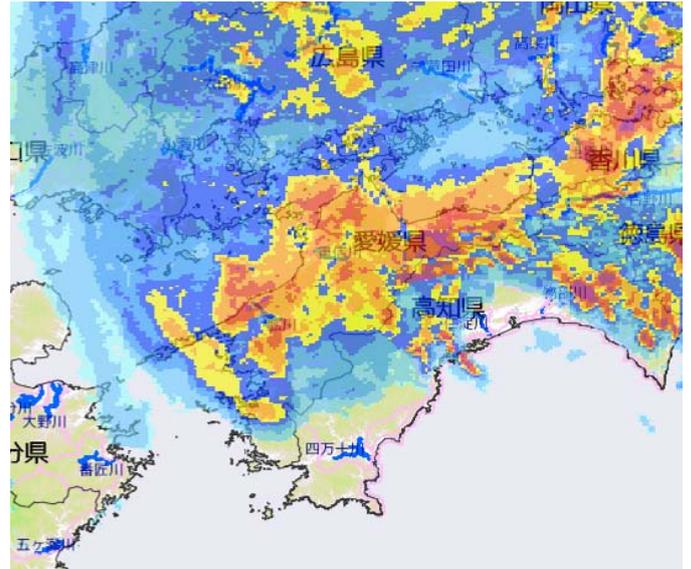
※気象庁HPより

■ レーダー雨量

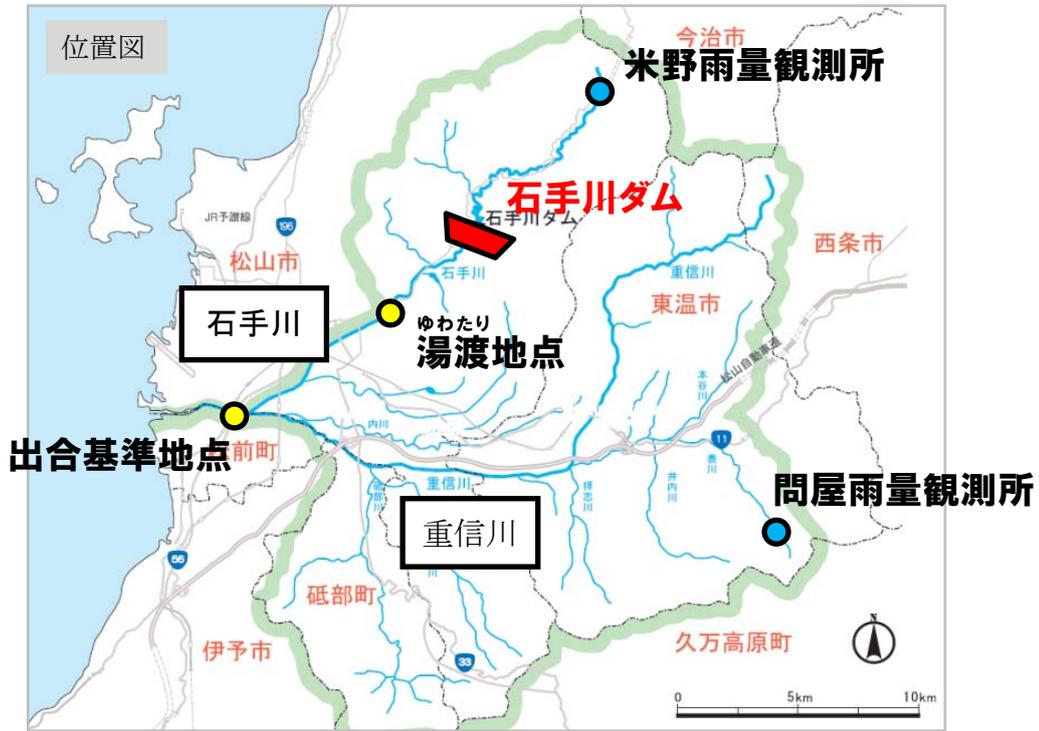
9月17日15時



9月17日18時



□ 出水概要



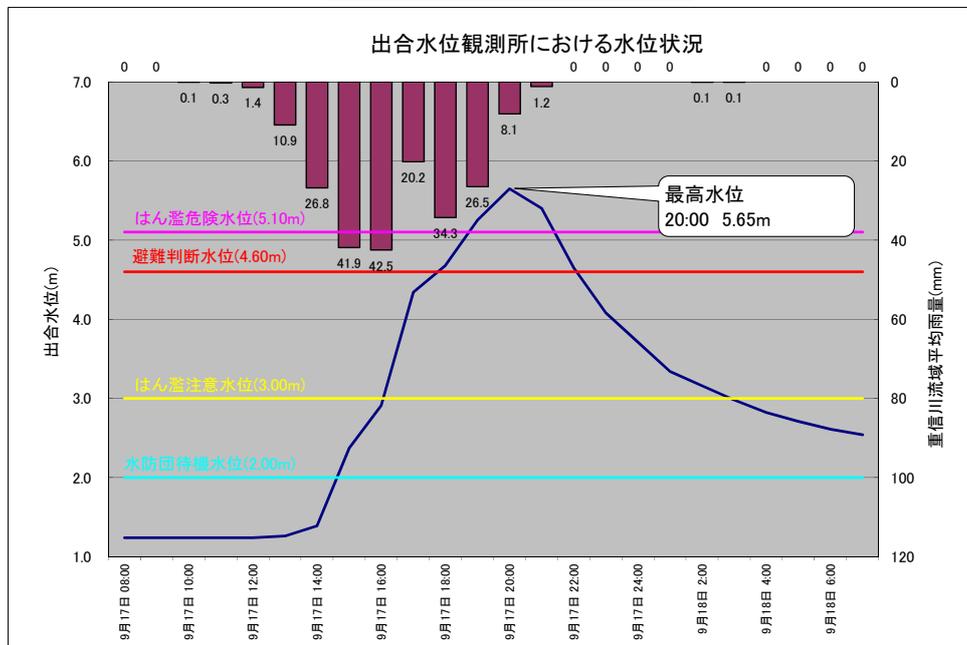
■ 重信川

台風18号による大雨で、雨量の最も多いところで、問屋雨量観測所において時間雨量56mm（17日15時）、降り始めの17日11時から21時までの雨量は289mmを観測した。

これにより出合基準地点では17日14時30分に水防団待機水位（2.00m）、16時10分に氾濫注意水位（3.00m）、17時30分に避難判断水位、19時00分に氾濫危険水位を超えてさらに上昇し、20時00分に戦後最高水位となる5.65mを観測した。

その後、水位は下降に転じ、18日3時00分に氾濫注意水位を下回った。

【出合基準地点の水位・雨量】



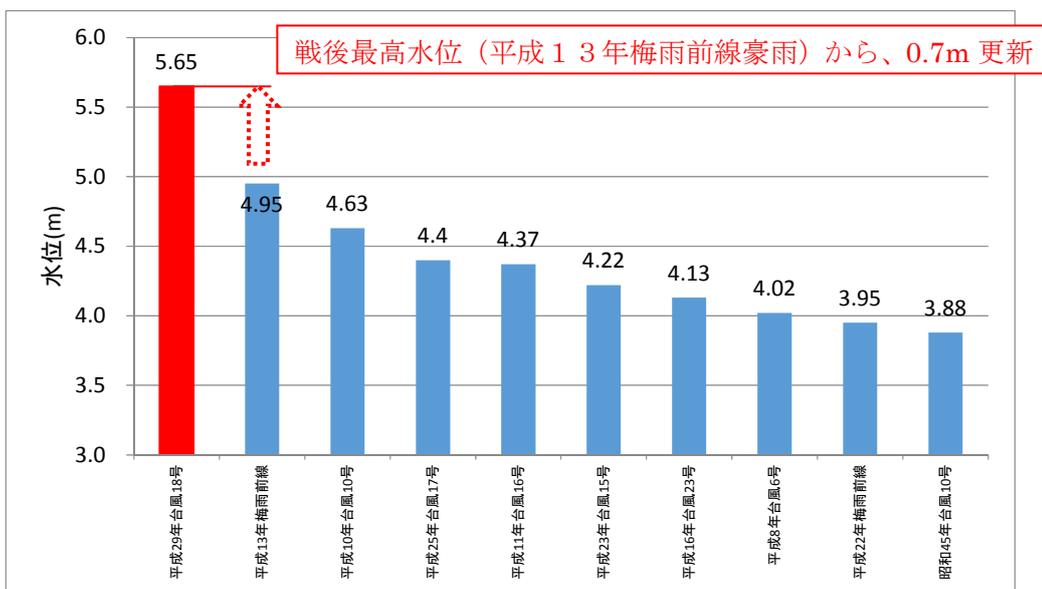


図 出合基準点の最高水位 上位10洪水



松前町大間^{だいま}地先の状況



松前町大間地先の状況



砥部町高尾田^{たかおだ}地先状況

重信川の出水状況写真

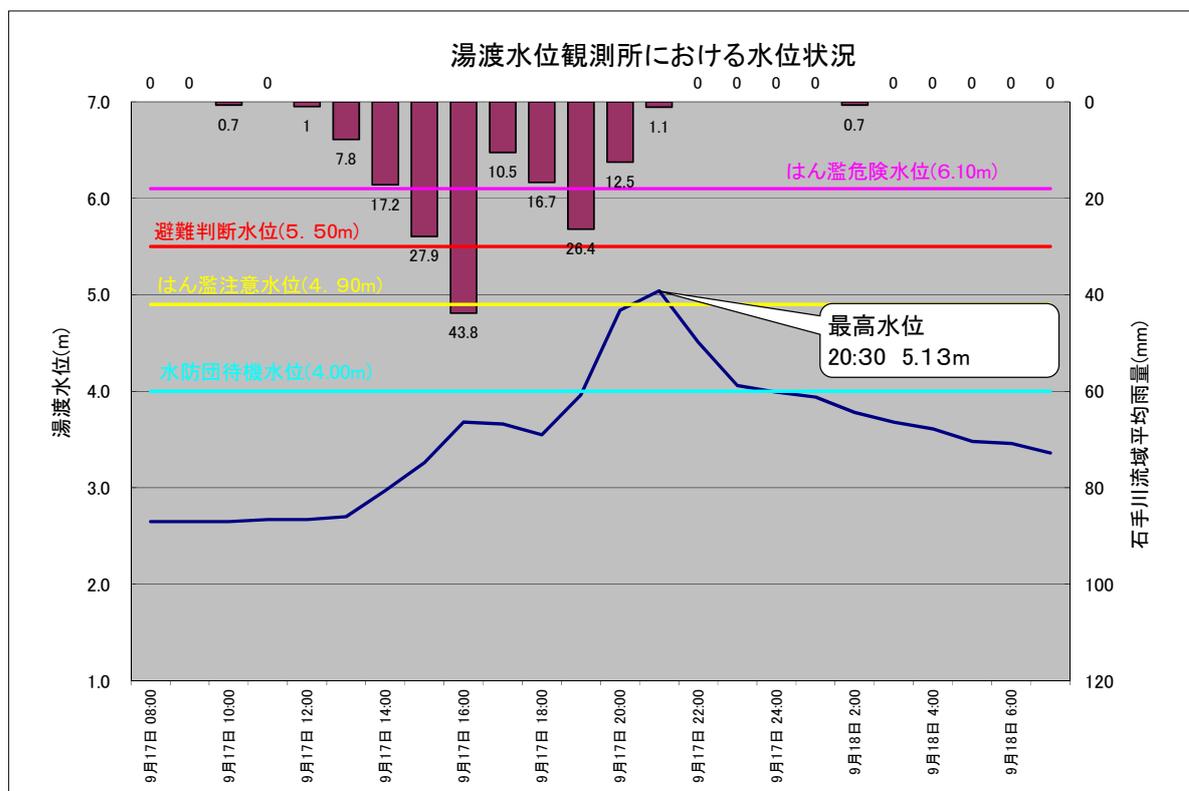
■ 石手川

台風18号による大雨で、雨量の最も多いところで、^{こめの}米野雨量観測所において時間雨量56mm（17日15時）、降り始めの17日11時から21時までの雨量は300mmを観測した。

これにより^{ゆわたり}湯渡基準地点では17日19時10分に水防団待機水位（4.00m）、20時10分に氾濫注意水位を超えてさらに上昇し、20時30分に5.13mを観測した。

その後、水位は下降に転じ、18日0:00に水防団待機水位を下回った。

【湯渡基準地点の水位・雨量】



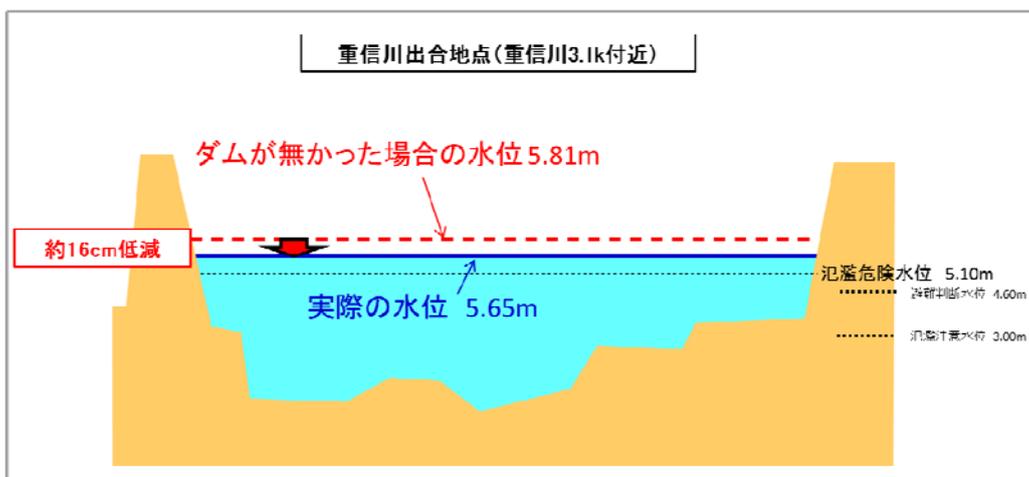
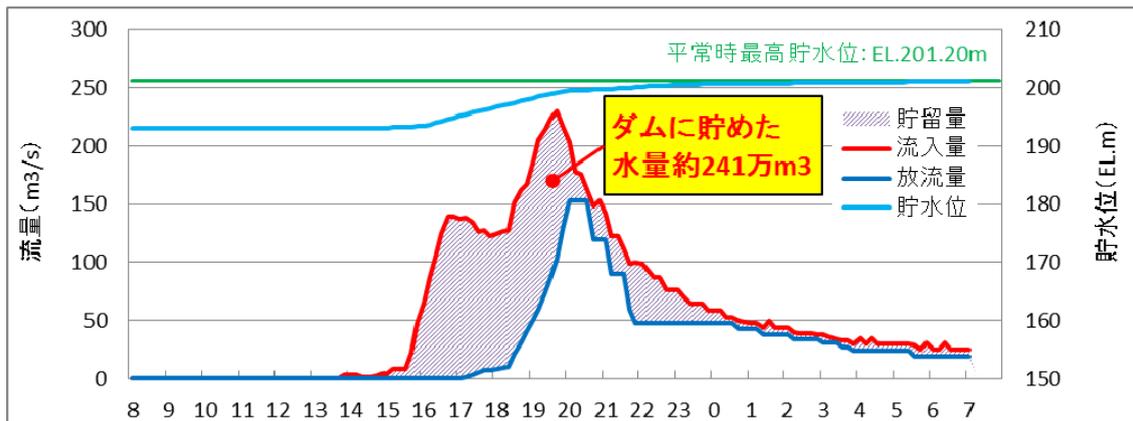
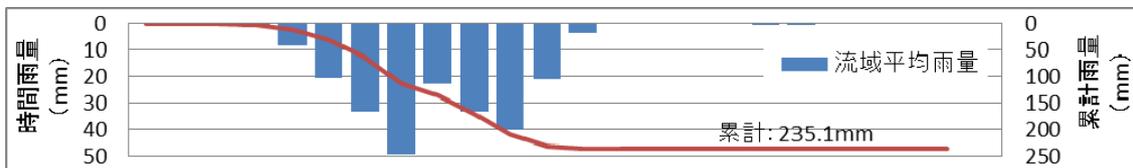
■ 石手川ダム

台風18号による大雨で、石手川ダム上流の流域平均雨量は、最大時間雨量49mm（管理開始以降第2位）、降り始めの17日10時から18日3時までの累加雨量は235mmを観測した。

石手川ダムは渇水により9月12日より取水制限を実施しており、出水前の貯水率は61.7%であった。出水中に、ダムに約241万m³を貯留し、貯水率を100%に回復させるとともに、下流の重信川出合基準地点のピーク水位において約16cm水位低減効果を発揮した。

なお、ダム最大流入量は約230m³/sで管理開始以降第3位の流入量を観測した。

【石手川ダムの状況】



石手川ダムによる効果（重信川出合基準地点での水位低減効果）



石手川ダム貯水率：67.1%

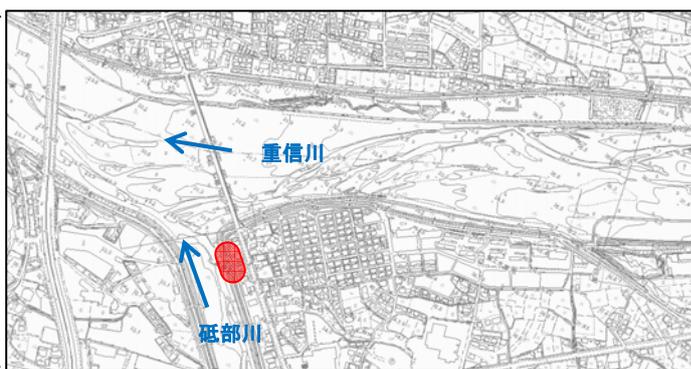
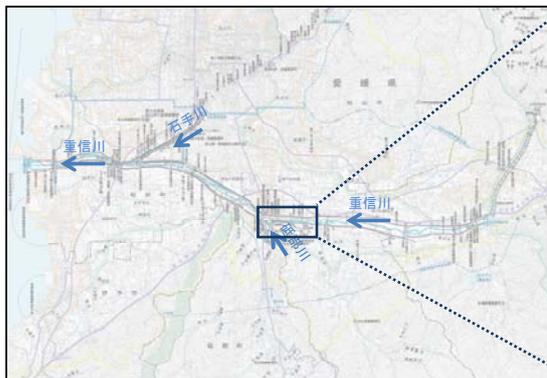


石手川ダム貯水率：100%

■ 内水排除のための排水ポンプ車支援

砥部町からの要請を受け、砥部町高尾田地区に松山河川国道事務所から、排水ポンプ車1台を派遣し、内水排除を行った。

出勤場所	機械規格 台数	排水時間	開始時間 終了時間	概算排出量	作業人員
砥部町高尾田 (砥部川の重 信川合流点)	30m ³ /min 1台	5時間00分	17時10分 22時10分	約9,000m ³	4人



 ポンプ車設置箇所



内水排除を行う国交省排水ポンプ車



排水状況